



最先端の遺伝子検査技術で不妊・難病患者様の治療に貢献する、
遺伝子検査の世界的リーディングカンパニーです。



カルロス・シモン博士率いる研究チームが、
科学的な実績に基づいた検査の開発をリードしています。

Dr. Carlos Simon
Professor at Harvard, Baylor University and
the University of Valencia

本社
スペイン、バレンシア

沿革

2011	アイジェノミクス設立	
2012	ERA 提供開始	490 報以上の学術論文
2013	NACE 提供開始	年間 18 万検体以上の検査実績
2014	CGT 提供開始	世界 25 か所以上の検査ラボ
2015	PGT-A 提供開始 (NGS)	従業員の約 20% が Ph.D. を保有
.		
2017	東京ラボ開設	



株式会社アイジェノミクス・ジャパン

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-7-10 エル人形町 4F | 03-6667-0456 | www.igenomix.jp



体外受精を始める前に。不妊治療で悩んだときに。

最先端の遺伝子技術で患者様の不妊治療を支えています。



受精卵が着床し、育っていく場所である子宮内膜には、受精卵を受け入れる準備が出来ているときと、そうでないときがあります。このタイミングは「着床の窓」とよばれ、わずか12時間早い・遅いだけで、胚移植が成功しないこともあります。ERA検査では、女性お一人おひとりの「着床の窓」を特定します。



子宮内の細菌叢、「子宮内フローラ」を妊娠に適した状態に整えるための検査です。妊娠を助ける善玉乳酸菌、善玉乳酸菌の働きを阻害する悪玉菌、慢性子宮内膜炎の原因となる菌が子宮内にどのくらい存在しているかを調べ、治療の必要性を確認します。



体外受精によって得られた胚の染色体の数を調べます。染色体数に過不足の無い胚を移植することで、妊娠率を向上し、流産を予防することができます。



胎児由来の組織から全24種類の染色体の異数性を調べる検査です。流産の原因を特定し、今後の治療の方針を決めるのに役立ちます。

